

【施策評価調査】

施策名	1-5-5 水洗化率の向上	施策目的	下水道の接続率(水洗化率)を上げることで、施設の効率的な利用と維持管理及び地域住民の快適な生活環境の向上を目指します。
担当部課	建設産業部 上下水道課	担当 リーダー	業務管理担当 阿久津 靖
環境変化	特になし	施策内容	下水道の利用促進を図るため、広報活動を充実させます。特に、公共下水道が利用できる地区において、公共下水道に接続していない世帯の解消を目指します。 (※2 水洗化率とは、生活排水処理施設が利用可能な人口に対し、実際に利用している人口の割合)

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:水洗化率(%)	平成16年度末 水洗化率	計画	65%	65%	65%	73%	65%
	63.94%	実績	↑ 69.04%	↑ 70.90%	↑ 73.02%	↑ 76.19%	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆	実際に下水道を使用している人口÷下水道を利用可能な人口=水洗化率						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	4,048,000	2,019,000	858,000	1,507,000	
	決算	4,755,395	2,045,559	877,522	1,424,476	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①水洗化促進事業費	当初 1,507,000	水洗化率(%)	A	道路側溝の汚濁防止、悪臭防止等生活環境が改善されつつある。また、水洗化率(接続率)の上昇により下水道使用料が増加した。			
	決算 1,424,476	76.2% / 73.0%		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	水洗化・未水洗化台帳と台帳図の整備をすすめ、データベースで作成管理しています。未水洗化者に対しては、未水洗化解消促進の通知及び接続に対するアンケート調査等を実施し、公共下水道が利用できる地区の未水洗化の解消に努めました。水洗化率の上昇により、下水道事業の効率的経営や生活環境の向上及び公共用水域の水質保全に資することができました。	未水洗化者の多くは高齢者世帯や生活困窮者といった社会的弱者であり、接続のための通知や広報等による啓発を実施しても、経済的負担の増加を理由になかなか効果が見られない。今後も引き続き普及啓発を図り、公共下水道利用可能地域の未水洗化の解消に努める。
総合評価	継続的に施策展開されていると評価する。 今後は、利用区域の拡大とともに、未水洗化者への対応がカギとなることから、健在行っている手法を検証した上で、有効な手法を検討し、下水道事業として効率的な施策展開を望む。	